

表 9 全死亡及び三大死因による死亡率の推移

死亡数は、11,174人で前年より177人増加しており、死亡率は、7.7で前年度より0.2増加した。  
死因別では、第1位・悪性新生物、第2位・心疾患、第3位・脳血管疾患となっている。

		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
粗 死 亡 率	全 死 亡	643.4	642.4	672.7	699.6	697.6	711.9	724.1	730.5	722.5	751.7	766.5
	悪性新生物	203.8	211.2	210.9	216.6	216.1	221.2	223.3	222.5	217.3	222.2	227.0
	脳血管疾患	69.2	67.4	67.2	67.9	66.7	70.5	63.0	59.4	74.8	59.2	54.3
	心 疾 患	97.8	95.5	103.3	109.0	99.4	98.8	102.1	104.5	103.3	115.1	114.3
死年 齢 調 整 率	全 死 亡	145.1	142.0	139.8	144.7	135.3	133.9	133.1	256.8	243.9	240.2	240.9
	悪性新生物	48.0	46.8	45.3	45.8	43.9	44.4	43.3	87.5	85.5	80.6	81.9
	脳血管疾患	12.1	11.4	10.9	11.5	9.9	10.7	9.5	19.9	24.3	19.5	16.0
	心 疾 患	18.1	18.5	17.4	18.7	16.3	17.1	17.4	34.6	32.7	34.9	34.1

注) 年齢調整死亡率の基準人口は昭和60年川崎市人口 平成26年度までは昭和40年川崎市人口

資料:庶務課 「人口動態調査」より